



にじのはし幼稚園 園だより



令和3年3月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 酒井 正美

パンジー、ビオラ、マーガレット、沈丁花、クロッカス…、園内に可愛らしい花が咲き始め、暖かな春が近づいてきています。緊急事態宣言が延長され、社会生活の中には緊張や制約が続く中ですが、季節は確実にめぐっていることを感じます。

3月を迎え、各学年では、修了・進級に向けて取り組んでいるところです。5歳児いるか組は、プレスクールで1年生から小学校の話聞き、期待を膨らませています。今回は、1年生と幼稚園・保育園がリモートでつながり、プレスクールを行いました。3、4歳児との「みんなで遊ぼうデー」「お別れ会」は、工夫をして交流をしたり、4歳児に「誕生会司会」「お休み調べ」「うーちゃん(ウサギ)のお世話」等、年長児として取り組んできた仕事や当番を引き継いだりしていきます。これまで幼稚園で楽しんできた遊びを思い出し、たっぷり遊ぶことや、3、4歳児との交流・活動を通して、もう少しで幼稚園の生活が終わること、小学生になることを実感していくことなのでしょう。修了式では、一人ひとりが自信をもち、しっかりと修了証書を受け取り、幼稚園を巣立っていけるよう、あと数日を充実させていきたいと思えます。

今年度の取組について、学校評価としてまとめました。ご協力いただきました「保護者アンケート」「学校関係者アンケート」と「自己評価」から「学校評価」としてまとめたものを「学校運営協議会」で承認いただきました。

今年度は感染症予防のため、異例の6月からのスタートとなりました。また、行事等は、感染症予防のために中止や工夫をしての実施となりました。日々の教育活動の中でも、感染症への対策を行い、幼児に合わせた指導をしてきました。しかし、そのような中でも、どのようにすれば幼児に必要な経験が担保できるかについて、知恵を出し合い工夫をしてきました。保護者の皆さまに、例年のように実施できないことや新たな実施の仕方や取組に対してのご理解と、前向きなご協力をいただきましたことは、大変に有難いことでした。

新たな取組をしたことには、よさが多くありました。よさを生かしながら、子供たちのよりよい経験につながるよう、また、感染症の状況に合わせ柔軟に対応できるように次年度の計画をしていきます。詳しくは、別添お配りをしました「令和2年度 学校評価 にじのはし幼稚園」または、後日掲載のHPをご覧ください。

困難な状況の中、子供たちの存在は正に社会の宝だと改めて感じます。どのような状況にも、子供たちは逞しく、日々成長しようとしています。その成長を支えるのは私たち大人ですが、子供たちの姿から、こちらが多く力をもらっていると感じます。子供たちの姿から学び、大人も成長をしていかなければと思います。保護者・地域の皆様が、幼稚園の教育を理解してくださり、子供たちのために心を尽くし協同してくださることは、にじのはし幼稚園の宝物です。

今年度の、にじのはし幼稚園の教育、取組へのご理解・ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。